

地方協議会での取組状況(22年度)

組織名

関東米粉食品普及推進協議会

内 容

●新製品の開発・販売の事例

○家庭用米粉

商品	販売者等	所在地	商品名
米粉	(株)波里	栃木県	お米の粉 薄力粉、お米の粉 強力粉
	共立食品(株)	東京都	米の粉
	(株)太陽食品	神奈川県	オーガニック米粉
	梨北農業協同組合	山梨県	梨北米の米粉
ミックス粉	日の本穀粉(株)	栃木県	ル・マロニエパン用米の粉ミックス
	(株)波里	栃木県	お米の粉で作ったホットケーキミックス粉
	(株)波里	栃木県	お米の粉で作ったお好み焼きミックス粉
	フーズテクノ(株)	埼玉県	さっくりアメリカンドッグのもと
	みたけ食品工業(株)	埼玉県	米粉パウダーホームベーカリー用
	共立食品(株)	東京都	米粉入りパンミックス
	米マイフーズ(株) 東京営業所	東京都	ケーキミックス

※販売場所は、大手量販店、スーパー・マーケット等及び通信販売。

○米粉パン

商品	販売者等	所在地	商品名
パン	(有)エムイー技研	群馬県	米粉パン
スコーン	フーズテクノ(株)	埼玉県	米粉のスコーン(アレルギー対応)

※販売場所は、道の駅、スーパー・マーケット等及び通信販売。

○米粉めん

商品	販売者等	所在地	商品名
うどん	(株)叶屋食品	群馬県	米粉うどん
	梨北農業協同組合	山梨県	梨北米の米粉で作った麺
	藤原製麺工場	山梨県	ジャパ麺
	百姓のパン工房	静岡県	しらゆきめん
ラーメン	みたけ食品工業(株)	埼玉県	日本の米らーめん
焼きそば	藤原製麺工場	山梨県	ジャパ麺

※販売場所は、農産物直売所及びスーパー・マーケット等。

連携の確立や供給体制の整備

地方協議会での取組状況(22年度)

組織名

関東米粉食品普及推進協議会

内 容

○米粉洋菓子

商品	販売者等	所在地	商品名
クレープ	袖ヶ浦市米粉普及推進協議会「いなほっこ」	千葉県	米粉クレープ
シュークリーム	(株)ラリアンス 「銀座 菓楽」	東京都	石窯玄米シュークリーム

※販売場所は、農産物直売所、「銀座 菓楽」及び都内百貨店・駅構内等の催事場等。

○その他の製品

商品	販売者等	所在地	商品名
片栗粉	(株)波里	栃木県	片栗粉(米粉入り)
	みたけ食品工業(株)	埼玉県	米粉入り片栗粉
フライ用米粉	みたけ食品工業(株)	埼玉県	米粉パウダーやき揚げ粉
総菜	イオン(株)	千葉県	米粉入りパン粉を使ったトップバリュ牛肉コロッケ
菓子	全農群馬県本部	群馬県	米粉かりんとう
	八日市場ふるさと交流協会	千葉県	米粉のどんどん焼き
	(有)ミラクル 「ひなざく堂」	東京都	白げこたん(大判焼き)
家電製品	(株)三栄コーポレーション	東京都	「モツフル」(米粉のワッフル製造機)

※販売場所は、イオングループ全店、百貨店及びスーパーマーケット等。

連携の確立や供給体制の整備

地方協議会での取組状況(22年度)

組織名	関東米粉食品普及推進協議会
内 容	
●イベント・講習会関連 ○管内10都県において、以下の取組を実施。(延べ308回) 1 米粉料理講習会 117回(参加人数約 2,900人) (1)内容:米粉パン、ピザ、うどん、すいとん、シチュー、チヂミ、どら焼き、ドーナツ シフォンケーキ、クッキー、ベーグル、ニヨッキ、ブランマンジェ等 (2)対象:小学生、専門学校生、食生活改善推進員及び地域女性組織会員、 教職員・PTA役員、報道関係者等 (3)講師:都県協議会々員等 参加者から「家庭で利用したい」などの声が寄せられるなど好評を博した。 2 各種イベントでのPR活動 127回(入場者数約 585,500人) (1)内容:パネル展示、啓発チラシ配布及び米粉食品展示・試食・販売等 (2)参加イベント:農産物・食育フェア、市民祭り、消費生活展、学園祭及び農業祭等 (3)対応者:都県協議会々員 来場者への米粉食品に対する認知度の向上及び喫食(購入)意欲を喚起した。 3 製造事業者向け米粉食品製造技術講習会・研修会 5回(参加人数約 180人) 米粉利用を促進するため、都県協議会々員等で米粉食品を製造している者を講師に、 職業(菓子)訓練校生徒への技能講習会、米粉麺製造普及講習会等を行った。 4 都県協議会の総会、米粉利用拡大検討会等 59回 米粉利用拡大のため、現状分析や今後の取組等についての意見交換等を行った。	●イベント・講習会関連 ○管内10都県において、以下の取組を実施。(延べ308回) 1 米粉料理講習会 117回(参加人数約 2,900人) (1)内容:米粉パン、ピザ、うどん、すいとん、シチュー、チヂミ、どら焼き、ドーナツ シフォンケーキ、クッキー、ベーグル、ニヨッキ、ブランマンジェ等 (2)対象:小学生、専門学校生、食生活改善推進員及び地域女性組織会員、 教職員・PTA役員、報道関係者等 (3)講師:都県協議会々員等 参加者から「家庭で利用したい」などの声が寄せられるなど好評を博した。 2 各種イベントでのPR活動 127回(入場者数約 585,500人) (1)内容:パネル展示、啓発チラシ配布及び米粉食品展示・試食・販売等 (2)参加イベント:農産物・食育フェア、市民祭り、消費生活展、学園祭及び農業祭等 (3)対応者:都県協議会々員 来場者への米粉食品に対する認知度の向上及び喫食(購入)意欲を喚起した。 3 製造事業者向け米粉食品製造技術講習会・研修会 5回(参加人数約 180人) 米粉利用を促進するため、都県協議会々員等で米粉食品を製造している者を講師に、 職業(菓子)訓練校生徒への技能講習会、米粉麺製造普及講習会等を行った。 4 都県協議会の総会、米粉利用拡大検討会等 59回 米粉利用拡大のため、現状分析や今後の取組等についての意見交換等を行った。

需要拡大の取組

地方協議会での取組状況(22年度)

組織名	関東米粉食品普及推進協議会
内 容	
	<p>●学校給食における特徴的な取組</p> <p>○栃木県 県産米粉100%の煮込団子及び天ぷら粉等としての米粉を導入。</p> <p>○埼玉県 (財)埼玉県学校給食会では、平成22年4月から県産米粉50%、県産小麦25%、外国産小麦25%使用の「揚げパン用米粉パン」を供給している。 また、米粉パン供給製パン事業者によると、児童に刺激され、米粉パンを購入する父兄が増加しているとのこと。</p> <p>○千葉県 市原市では、平成22年度に「米粉パン導入事業」予算76万円を拠出し、市内パン製造業者と連携の下、市内産米粉(5割使用)の米粉パンを全校で月1回供給している。</p> <p>○山梨県 (財)山梨県学校給食会では、供給している米粉パンの新たなメニューとして「子どもパン」、「ミルクパン」等の加工パンを導入するため、平成22年7月にパン試験焼を実施し、2学期から供給している。</p> <p>○長野県 諏訪郡原村では、村内産米を原料に米粉パンを、平成22年4月から村内小・中学校に年間20回の予定で供給している。</p>
その他	<p>●新規需要米(米粉用)の産地とのマッチングの事例及び課題</p> <p>関東米粉食品推進協議会会員の製粉事業者や米粉食品製造事業者等約23事業者が、全農や地域の生産者と契約を結び、その取扱数量は22年産米で4,380トン(21年産対比153%)程度となっている。</p> <p>なお、課題としては、①製品需要に応じた契約年度途中の契約数量の変更を可能にして欲しいとの要望(千葉県)や②活性化プロジェクト交付金の潤沢な予算を確保して欲しいとの要望がある。</p>

地方協議会での取組状況(22年度)

組織名	関東米粉食品普及推進協議会
内 容	
●他の取組	<p>○第60回外食産業フェア2010に出展(平成22年10月13日～14日;東京都) 関東米粉食品普及推進協議会及び関東農政局は、食品を扱う事業者等を対象とした同フェアに、米粉利用拡大のための重点イベントとして、昨年に引き続きブースを設置。会期中の入場者数4,255名に、米粉の特徴や新たな米粉商品の可能性などをパネルやリーフレット等で紹介、参画した会員事業社(17会員)からは、様々な米粉・米粉製品の展示や試食を通じて米粉の魅力のPR等に取り組んだ。</p> <p>試食・展示品:家庭用米粉、米粉パン、めん(ラーメン、うどん、そば、フォー)、洋菓子(ホールケーキ、デコレーションケーキ、クッキー、パウンドケーキ)、ピザ台、ナン、パンズ、ワッフル・モップフル、天ぷら、からあげ粉、パン粉、あられ、ルウ(カレー、シチュー、ハヤシライス)、玄米スライス</p> <p>○米粉使用実態調査 米粉販売者並びに米粉利用食品製造者(協議会会員以外の製造者含む)等を対象に、平成21年度の米粉使用量の聞き取り調査を実施した。 ・調査結果(聞き取り調査業者数 193(うち、協議会会員以外41)) 　　米粉使用量: 4,330トン (平成20年度 3,493トン)</p> <p>○関東米粉食品メールマガジンの発行 協議会の会員に対する、情報提供及び会員間の情報交換のため、「イベント開催」、「米粉新製品の紹介」、「新たな販売場所」、「小型製粉機の設置情報」及び「会員が取り組んでいる料理講習会等」の情報を掲載した、メールマガジンを月2回発行した。 (7月に号外を発行(1回)、22年11月30日の発刊で創刊100号を迎えた) また、新聞、テレビ等の報道機関会員へも配信していることから、報道機関に消費者への情報提供の材料となるよう、提供内容とその構成を工夫し取り組んでいる。 さらに、関東農政局ホームページに掲載し、会員以外の者へ情報提供を行っている。</p> <p>○協議会会員の加入促進 協議会組織の拡充のため、会員増加の促進に取り組み、平成23年2月末現在 906会員(平成22年1月末 590会員(+316会員))となっている。</p> <p>○「米粉流通推進モデル事業」で新製品試作・啓発ツール作成(茨城県) いばらき米粉食品普及しよう会は、茨城県農産課が実施している、「米粉流通推進モデル事業(予算132万円)」を活用し、下記の取り組みを行った。 (1)米粉レシピ・ポスター・のぼり旗を作成し、米粉食品販売店等(28店舗)に配付した。 (2)上記事業の中の「製品試作用サンプル米粉提供事業」での米粉無償提供を活用し、 ①会員による新製品試作、②料理講習会で米粉の調理方法及び商品紹介等を実施している。 予算30万円 (米粉900kg) (2月末現在、83件の申込み、米粉900kg提供)</p>

地方協議会での取組状況(22年度)

組織名	関東米粉食品普及推進協議会
内 容	
	○米粉料理コンテスト開催(埼玉県) 埼玉県米粉利用食品推進連絡会は、平成22年6月30日～11月30日にかけて、同連絡会会員対象に「エコや地産地消等」に着目した米粉料理コンテストを開催した。 なお、応募作品をレシピ集に取りまとめ、地域の栄養士や食生活改善推進員が実施した「米粉料理講習会等」で参加者に配付し、家庭での米粉利用拡大の啓発を行った。 (応募作品12点、実施予算20万円:埼玉県米消費拡大推進連絡協議会助成) ○米粉製品の商品開発(埼玉県) 埼玉県米粉利用食品推進連絡会は、平成22年9月3日～12月1日にかけて、埼玉県学校給食麺類協同組合に要請し米粉麺の開発を行った。 米粉入りすいとんの商品化を実現し、23年3月開催のフーデックス2011に出品し、販路拡大に取り組むこととしている。 (試作品5点、実施予算20万円:埼玉県米消費拡大推進連絡協議会助成) ○フーデックス2011への出展(埼玉県) 埼玉県米粉利用食品推進連絡会は、平成23年3月1日～3月4日にかけて、幕張メッセ(千葉県)で開催されたフーデックス2011に出展し、埼玉県産米粉のPRを行った。 開催期間中は、同会員4事業者が米粉、米粉入りすいとん、米粉クッキー等の試食品を配布すると共に、埼玉県産米粉デコレーションケーキ、米粉麺、米粉カレー、米粉パン等を展示した。 (実施予算66万円:埼玉県米消費拡大推進連絡協議会助成) ○米粉パンプロジェクトの展開(神奈川県) 株式会社ボンパドゥルは、年間を通じて、多種多様な米粉パンを開発・提案し、新商品として同社全店舗で提供する「米粉パンプロジェクト」を展開、米粉パンのバラエティ化に取り組んでいる。 ○米粉FOODコンテスト(静岡県) 米粉FOODコンテスト実行委員会は、米粉を素材とした新商品の開発促進や、新しい米粉の食べ方の提案によって広く米粉の普及を図るため「米粉FOODコンテスト2010」を開催した。 同コンテストでは「パン・めん・菓子類・その他」の各部門に多くの応募が寄せられ、上位入賞作品は「作品集」に掲載される予定としている。 また、平成22年11月の表彰式では、コンテスト上位入賞者による販売会を実施した。

その他

23年度の取組計画

組織名

関東米粉食品普及推進協議会

内 容

米粉食品啓発に関する事業

(1) 消費者・事業者向け

- ① 米粉料理教室等の開催・参画、各種イベントでの商品展示・試食提供等PRを展開
- ② 米粉食品製造技術向上のための講習・研修会等の開催・参画
- ③ 「米粉俱楽部」等のツール、各種キャンペーンを活用したPR
- ④ 飲食店での「米粉メニュー取扱」要請

(2) 会員向け

- ① 米粉食品製造技術講習・研修会等の支援、企画及び料理教室等での講師派遣
- ② 各種イベントへの積極的な参画、商品展示・試食提供等PRを実施
- ③ 「米粉俱楽部」等各種キャンペーンに連動した運動の展開
- ④ 米粉に関するデータ及び技術情報等提供
- ⑤ 地域での米粉料理講習会での利用拡大を目指し、栄養士等対象の新製品
試食会開催

(3) その他

- ① フーデックスジャパン等主要食品産業展へ参加して普及・啓発を図る。
- ② 養護学校等での自立支援事業にかかる米粉食品試作用の米粉の無償提供(埼玉)
- ③ 小学校総合学習の時間での米粉料理実習の要請
- ④ 販売場所拡大の取組
- ⑤ 学校給食における米粉利用状況等の情報収集と共有
- ⑥ 米粉B級グルメ大会(仮称)開催の検討

情報発信に関する事業

- (1) 米粉食品を扱った「6次産業化事例」の収集とその情報提供
- (2) 米粉使用実態調査の実施(関東独自、平成19年度から実施)
米粉・米粉食品の製造・販売者に、米粉の使用量を聞き取り、フィードバックし利活用
- (3) 各種媒体を活用した取組
 - ① 米粉新商品・イベント、各種施策等の情報をホームページ等を活用しタイムリーに発信
 - ② 会員間の情報受発信のため、「関東米粉食品メールマガジン」を月2回発行
 - ③ 新聞等報道機関、米粉関連サイト及び各種広報誌発行機関への情報提供

その他

- (1) 協議会組織の強化のため会員相互の情報の共有化を促進
 - (2) 協議会組織の拡充のため会員増加の取組を実施
- ※ 上記について、前年実績を上回る活動を実施する。